NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター　イデア

2014

11月号

つながり×ひろがる　　いちのせき市民活動センター

～もくじ～

2｜二言三言~ お互いの弱み強みを共有する時代 ~

4｜団体紹介~ 矢ノ森史跡保存会 ~（東山）

5｜地域紹介~ 赤柴自治会 ~（川崎）

6｜企業紹介~ 株式会社金澤電気工業所 ~（一関）

7｜センターの○○~Hana 金！の裏側を取材 ~

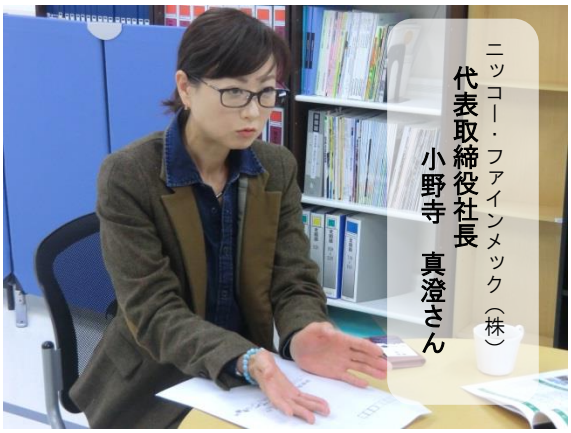
フタコト×ミコト

第6回　二言三言 10/124,663

お互いの弱み強みを共有する時代

対談者　ニッコー・ファインメック株式会社　代表取締役社長　**小野寺　真澄**さん
クリーンセンター花泉有限会社　取締役営業部長　**菅原　健二**さん
聞き手　いちのせき市民活動センター　センター長　**小野寺 浩樹**

顔の見える企業として



【小野寺（浩）】以前、本誌の中で企業取材させていただいた両社から、地域との関わりについて企業としてどうお考えか、お話ししていただきたいと思います。ニッコー･ファインメック株式会社社長の小野寺さんからお伺いしますが、地域との関係を改めてどのように考えていらっしゃいますか？

【小野寺（真）】そうですね。創業から 39 年、私どもの会社がここまで成長させて頂けたのも、地域住民みなさまのご理解があったからこそだと心から思っておりますし、感謝しております。当社がある千厩町の奥玉地域は自然豊かな土地で、市民の水道の源になっている川も流れています。その川を汚してしまえば、市民の方すべてにご迷惑がかかるわけです。住民と同じ立場になって考えてみると住み慣れている土地のすぐ側に、産廃処理工場があるというのは不安・不満もあることと思います。ですから、「危険はありませんよ。このような処理をしていますよ。このように対策をしていますよ」という企業からの情報発信とアピールをとても大切だと感じております。現在は廃棄物処理施設を持っていると、住民説明や工場公開が岩手県条例や法律で義務となっていますが、我社は、平成 18 年より一般公開し、住民との意見交換をしてきました。

実際、創業当初は騒音･煙突から出る煙（蒸気）等々不安の声も寄せられましたが、説明できる機会・意見を聞ける機会を設けることにより、関係も相互改善が出来るのです。逆に「何も言われないこと」というのが一番怖いですね。工場公開の日は、丸一日かけ工場見学のほかに歌手を呼ぶなどのイベントも兼ねて、できるだけ多くの近隣住民に興味を持って来社してもらえるように工夫しています。私どもにとっては、地域住民との大切なコミュニケーションの日と考えています。

【小野寺（浩）】地域の皆さんに実態を理解してもらうため、企業として説明責任をしっかり果たしていくことが、地域と企業が共存するために一番必要なことですよね。では、菅原さんはクリーンセンター花泉有限会社として、地域との関わり方をどのようにお考えでしょうか？

【菅原】小野寺社長がお話ししたとおりとだと思います。産業･一般廃棄物処理業で取り扱っている物は、市民にとっての不要物。どうしても一般の方が考えたら、「汚いもの」「危険なもの」という認識が強いですからね。私どもは、一般屎尿を取り扱うことから始まった会社ですので、創業当初は業務内容について、民家を一軒一軒挨拶回りしたものです。理解を深めてもらう中で、「家庭内の不要なものを処分したい」とか、

「建設業が周りに多くなってきて資材ゴミの廃棄に困っている」という声が多くなり、地域に求められている産業廃棄物の許認可を取得しました。

【小野寺（浩）】菅原さんのお話の中にあった産業廃棄物は市民にとっては不要な物という言葉、すごく響きますが、もともとは、私たち市民が出しているんですけどね(笑)

【菅原】そうですね(笑)でも、地域の方からのニーズを拾い、取り組む姿勢を大事にしています。先ほど、小野寺社長がおっしゃっていた工場公開ですが、私どもでは見学･説明会と合わせて当社所有諸機械のデモンストレーションを行い、実際の作業状況を再現し住民に公開しています。

【小野寺（浩）】ニーズを拾って取り組んでいることも含めて、皆さんに公開することを大事にしているんですね。

【菅原】そうです。我々のような一般・産業廃棄物処理業者は、特に住民への公開を大事にしていると思います。なぜならば、地域住民がいなければ成り立たないからなんですよね。実際、理解を得られないとやっていけない職業なんだと感じますね。

企業・地域・行政の連携

【小野寺（浩）】まさに、両社の取り組みは、企業活動の地域課題解決型であり、市民が生活をしていく上で、絶対切っては切り離せない分野の職業ですよね。実際、不法投棄の問題もありますが、そういったところに気づき、安全対策を考えながら処理の方法を企業として考えていく、まさに環境活動も兼ねている企業活動だと思います。

さて、これからの企業活動を継続し、発展させていくためには、地域･行政とどのような関係が必要だとお考えですか？

【小野寺（真）】今までも私たちに地域に対して何ができるのか悩んできました。クリーンセンター花泉さんのように高圧吸引車やダンプ車があれば、災害時の緊急な対応も可能ですが、我が社のような、工場や医療系廃棄物を取り扱う小口回収型となると、車両設備的にも災害時等の緊急対応ができず、正直もどかしさもありました。今、市内の公民館にリサイクル BOX が設置されていますよね？昨年 4 月に小型家電リサイクル法が施行され、一般家庭で不要になった小型家電のリサイクルできる許認可を国（環境省）から頂き当社でリサイクルしています。不要物となった小型家電の中にも有用な金属が含まれています。地元一関で使われたものが私たちの手でリサイクルすることができるのですから、こんなに誇りに思えることはありません。この活動が市民に広く伝われば、よりリサイクルに興味を持ってもらえると思いますし、市全体のリサイクル意識も変わってくると思います。

【菅原】ニッコーさんは、リサイクル業に関して岩手でも先駆けですし、私どもにはないものを持っていますから、お互い無いものを協力するというのが一番強い「連携」だと思いますね 。企業協力することにより市内でできることの範囲が益々大きくなると思います。

【小野寺（浩）】なるほど。そうですよね。

【菅原】ただ、実際には今までなかなか踏み出せなかった部分があるんですよ。

【小野寺（真）】地元にありながら、横の連携、特に県南の産廃に関しては「連携が薄いのでは？」と他支部から言われていました。実現出来るようになれば、もっと地元に還元できることや実現できることもたくさんあるかと思います。

【小野寺（浩）】お話を伺って、自社が持っている強みは強みで伸ばし、弱みは同業者もしくは他企業や行政などと連携することによって、地域の経済力が高まったり、環境力が高まることを感じました。やはり、お互いの強みを掛け合わせていくことが、これからの在り方なんでしょうね。また、時代の変化に迅速対応できるところも企業の強みの一つですよね。地域も柔軟性を持ち合わせ時代の変化に対応することを常に意識することが大切だと感じているので、今日、伺ったお話しをたくさんの方に共有できればいいなと思います。

基本情報

【ニッコー・ファインメック株式会社】
住所：〒029-1111
一関市千厩町奥玉字天ケ森 75-6
TEL　0191-56-2601　FAX　0191-56-2619
WEB　http://www.nikkofm.co.jp
【クリーンセンター花泉有限会社】
住所：〒029-3104
一関市花泉町日形字日形山 2 番地 1
TEL　0191-82-5393　FAX　0191-82-5391
WEB　http://www.kurin-hanaizumi.com

紙面で紹介しきれなかった部分は、「こぼれ話」としてブログに掲載します。気になる方はチェック！
URL：blog.canpan.info/ichinoseki/category_15/1

矢ノ森史跡保存会

団体紹介

会長　千葉春夫さん

～基本情報～

◆会　長：千葉春夫さん

◆連絡先：東山町観光協会

〒029-0302　東山町長坂字西本町 105-1

◆電話：0191-47-4525

先人たちが刻む足跡、八景から地域の歴史を辿る

受け継がれる伝説・矢ノ森八景

一関市役所東山支所から、北西 5.5km の場所に位置する田河津矢ノ森地域。同地域には、奥州藤原氏にまつわる数々の史跡がありますが、その中でも「藤壺の滝」「曽我寺址」「八枚」「湯場」「九郎森」「頼朝の墓」「天皇さま」「切支丹処刑場」は矢ノ森八景といい、地域の人々に守られ語り継がれてきました。

この八景を後世へ伝えるきっかけになったのは、石と賢治のミュージアムで毎年開催しているグスコーブドリ大学校の民泊で、平成 16 年に同地区から 8 つの史跡を選び紹介したことでした。矢ノ森史跡保存会では、この八景を保存し継承しようと、翌年 10 月に団体を結成。当初千葉さんは副会長を務めており、平成 25 年の 3 月に 2 代目会長に就任。文化財の伝承や史跡の案内ガイドをしながら後世へ伝える活動をしています。

八景にまつわる歴史や由来

矢ノ森八景は、田河津地区にある 8 つの行政区が由来となっています。

八景の一つである「藤壺の滝」は、周辺に咲く藤の花と滝壺が美しいことからその名がつけられました。滝の脇にある坑道の中はいくつかの道に分かれており、歴史を感じさせる手掘り金山址(あと)が残っています。藤の花が見頃になる 6 月には「藤壺祭り」を開催し、地域住民が歌や演舞を披露。飛び入り参加をする人もおり、参加者や来場者は年々増え、賑わいをみせています。

「曽我寺址」は、藤原泰衡の家臣である田河行文が出羽で頼朝軍と戦い討ち死にした際、家臣の曽我三郎が主君行文の首を持ち帰り、平泉を一望できる桜の名所である束稲山の麓に行文の墓としました。近くに庵を結び主君の冥福を祈って一生を終えた地と伝えられています。

「八枚」といわれる史跡は、一日に小判八枚分もの量の金がとれていたことからそう呼ばれていました。もともと田河津地区は、伊達政宗の領地で直轄地といわれていた場所です。金の産地だったことを伝える石碑や言い伝えがありますが、金山址地はそれぞれ秘密の場所であるため資料はあまりなく、確かな証拠となるものがありません。しかし、歴史にまつわる人物が背景にいることも事実。想像が膨らみますが、千葉さんが伝承することは後世に繋がっていくと感じました。

先人の想いを受け継ぎ、先祖を供養する

同保存会の活動を通じて矢ノ森にある史跡を知った地域の方からは、「名所について改めて知ることができた」「新たな発見がありました」等の感想をいただいたそうです。集落自慢の矢ノ森八景ですが、観光名所になることにより見物客が増え、山にゴミを捨てられる等の問題が起きて困ることもあるそうです。史跡の管理が大変になってくると、保存会だけではなく 8 つの土地の所有者がそれぞれ管理を行います。「今は、限界集落や少子化問題がありますが、現状を維持していきたい。ご先祖様の供養と思い、今後も見守り続けていければと思います」と語る千葉さんの言葉からは、後世へ伝えていく使命の気持ちが伝わってきました。

藤壺の滝（金山抗入口）

地域紹介

川崎町　赤柴自治会

会　長：米倉昌樹さん（左）
副会長：今野良平さん（右）

～基本情報～

◆自治会長：米倉昌樹（よねくらまさき）さん（４期８年目）

◆川崎地域の南端に位置する赤柴自治会は59 世帯 222 人が暮らし、農村女性の家を拠点に地域活動を行っています。

地域行事を引き継ぎみんなで守り大事に残したい

地域のオアシス「農村女性の家」

国道 284 号線のローソン岩手川崎店前の交差点から南側へ延びる農免道路を道なりに進むと、小高い山の中に広がる赤柴地区。ここは川崎町の南端に位置し、藤沢町黄海地区と接している中山間の農村地域です。かつては薄衣小学校南分校が地区内にあり、小学校 1 年生から 4 年生までが学んでいました。

「何も自慢することはありませんが、見晴らしは最高です」と米倉さん。米倉さんは行政区長と自治会長を兼ねています。お話を伺った場所は川崎農村女性の家で、部屋からは室根山はもちろん千厩病院や自動車学校の建物が見えます。女性の家は一関市の施設で、管理を地元赤柴自治会が行っています。公民館的な役割を果たし、地元の会議等の利用はもちろん、食品加工室では女性有志が豆腐や味噌を作り、川崎道の駅などで販売しています。「入浴設備も備わり宿泊もできます。川崎のＥボート大会では、遠くから参加するチームが宿泊しています」と米倉さんは語ります。

絶やさず続けることが大事

赤柴自治会は、総務部、教育社会文化部、厚生部、産業部、女性部、体育部の６つの専門部で構成。各部の担当業務は、総務部は運営委員会や自主防災訓練、教育社会文化部は各種講座や子ども会事業の実施、厚生部は環境整備や資源回収、産業部は農業研修、女性部は栄養改善や老人クラブ交流、体育部は各種スポーツ振興と、それぞれが部長を中心に活動しています。

会の活動は、1 世帯年間 10,000 円の会費や市などからの補助金で運営。活動を進めるにあたっては、会長、副会長、書記、会計、部会長（6 人）、班長（8 人）で構成する運営委員会で協議しながら行っています。

会の行事で一番賑わうのは夏祭りです。以前は青年会が祭りを仕切り盛り上げていました。しかし青年会は自然消滅し、それではと動き出したのが女性部。会場にはバーベキューや焼き鳥、流しそうめん等を用意し、子どもからお年寄り、お盆で地元に帰ってきた帰省客の方も食べ物を囲みながら交流します。「女性部の方には、絶やしてはならないという思いで動いてもらっています。義理堅い人たちが多くて感謝しています」と今野さん。中学生も役割分担があり、手伝いをすることを通して地域の行事を体験する良い機会にもなっています。

子どもは地域の宝

人口 222 人のうち、小中学生が合わせて 50 人以上と子どもの割合が高い赤柴地区。自治会では、毎年 3 月に「励ます会」を開催し、小中学生を招待して進級・卒業をお祝いします。自治会長が一人ひとりに賞状と記念品を贈るなど、地区全体で子ども達に一年間の成長を励ましている伝統行事です。「川崎でも今ではここしかやっていないでしょう。子どもは地域の宝です。無くすわけにはいきません」と米倉さん。また、自治会では小学生の農園活動も応援し、地域で子ども達を大事に見守り育てています。

自治会の活動は参加者が少なくなってきているのが悩みとお二人は語ります。そんな中でも元気な女性たちやたくさんの子ども達がいる赤柴。「もっと人が集えるようそして地域が元気になるよう頑張っていきたい」と米倉さんは抱負を語ります。

農園活動に参加する小学生達

株式会社　金澤電気工業所

企業紹介

取締役会長
金澤　宏治さん

～基本情報～
◆取締役会長：金澤　宏治　さん
◆連絡先：〒021-0891
一関市桜木町 6-12
◆電　話：0191-23-5200
◆ＦＡＸ：0191-23-5201
◆ＵＲＬ：http://www.kana-ec.co.jp

地域課題の発見と自らの行動力

多様な活動のきっかけ

ＪＲ東日本の電気工事を主体に県内各市町村の各工場や各学校・福祉施設等の電気設備工事から、商店照明・街路灯工事等、電気工事一般を幅広く手掛けている株式会社金澤電気工業所。昭和６年６月、現取締役金澤会長の父が市内地主町で始めたラジオ屋店から発展し、昭和 25 年４月同社が設立となりました。

「品質を羅針盤に顧客の役立つ施行を通して信頼を得、感謝され、顧客と一体となって地域社会の発展に寄与すること」を使命とする同社は、平成６年から全社員が自発的に地域貢献活動に取り組んでいます。

操業開始まもなくから地域とのつながりを大切にし、様々な活動に力を入れていた同社ですが、平成６年地域の市民団体が行うユニセフへの寄付活動に協力するため使用済み切手、使用済みカードの提供を社内報で呼びかけたことがきっかけとなり、全社的に地域貢献活動への気運が高まり、翌年から地域景観づくりに着手するなど、益々、取り組みが活発になったのです。

「明るく、楽しく、美しく」

新入社員入社記念事業として平成７年４月から始めた舞草神社参道沿いのアジサイ・ヤマザクラ植樹活動は、この数十年で約 130 メートル以上の花ロードとなり、住民の憩いの場ともなっています。現在、毎年 7 月の「安全週間」と 10 月の「労働衛生週間」の恒例行事として、社員自らがテーマを決め、自主的に植樹や周辺の清掃など環境整備を積極的に推進しています。

この活動が長続きしている秘訣は、「身近なところから無理せずに活動を積み重ねる。それぞれの立場で、持てる力を地域社会の一員として活かすこと」と語る金澤会長。「活動の合い言葉は『明るく、楽しく、美しく』だよ」と笑顔で続けます。

同社は地域景観づくりだけではなく、市内福祉施設や病院等の照明器具等の点検・清掃等を奉仕活動の一環として行っています。一般の人にはなかなか難しい高所での作業も、同社社員にとっては得意分野。取材を通して、金澤会長が語る「それぞれの立場で、持てる力を活かす」という言葉に共感できました。

次世代が担う明るい未来

地域に大きな経済効果を生むとされる、国際リニアコライダー（ＩＬＣ）誘致の実現を見据え、現在、金澤会長は市で開催した勉強会のすべてに参加。さらには、新聞などで情報収集するなど余念がありません。同社は、観光地や祭りのチラシを貼り、紙芝居をイメージして、説明文をいれたパネルを作成し誘致をＰＲしています。「ＩＬＣ計画は壮大過ぎて当初は関心が持てなかったが、勉強会などに足を運ぶうちに地域経済の発展、次世代への明るい未来が想像できてきた。今後は地域環境をさらに良くし、県外市外、世界中のお客様をおもてなしするために、市民として環境を整えておく必要があるなと感じている。長閑（のどか）で美しいまちづくり。ありきたりかもしれないが、市民一人一人が安心で安全に暮らし続ける一関市になるように今後も様々な面で活動していきたい」と今後の思いを語って頂きました。取材時には、アルバム３冊分の地域貢献活動の様子を納めた写真を準備してくださり、社員の思い出話を聞かせていただきました。

孫子が築く未来のことを考えながら、社員や地域に寄り添っている姿が伝わる取材でした。

同社は地球環境にも配慮し運営しています。

センターの◎◎！（まる まる）

―志民のための成長戦略「Ｈａｎａ金！」の裏側―

当センターでは地域への参画支援事業の新たな取り組みとして今年度から「Ｈａｎａ金！～話に花咲く金曜日～」を毎月第２金曜日（※）に開催しています。市内には「こんなことをしてみたい！」「一緒に活動してくれる仲間を探している」という方が多く、そんな方々が自由に話を出来る場をつくろうと始めたＨａｎａ金ですが、商品開発や事業企画など、アイディア創出の場としても活用していただいています。今回はその裏側をご紹介します！

※11 月のみ第 4 金曜日（11 月 28 日）開催になります。

1 開催1か月前～

集客

参加された方に毎回新しい出会いがあるよう、お客様がセンターに来所された際やスタッフが各地域にお邪魔した際にＨａｎａ金のご案内をさせていただいております。
ご興味のある方はスタッフに「どんな話したの？」「どんな人が来たの？」等、お声掛けください。

2 開催当日

打ち合わせ

今回Ｈａｎａ金でメインホストを務める佐藤とアシスタントの千葉。メインホストが集客後の参加予定人数に合わせてワーク設計（島数や自己紹介の時間設定など）した内容を共有し、当日の流れを打ち合わせします。備品のチェックも忘れません。当日はメインホストの補助がアシスタントの務めです。

3 開催当日

準備

会場づくりを行うメインホストとアシスタント。リラックスして参加できるためのブレイクコーナーのほか、「本日のコビル」と称して地元産のお菓子等を、話題提供も兼ねてご用意しています。どんなコビルが出てくるのかは毎回のお楽しみ♪ホールの装飾やＢＧＭもメインホストの“おもてなし”です。

4 開催当日

開催

落ち着いて丁寧にＨａｎａ金の趣旨を説明するメインホスト。それぞれ好きな飲み物を手に取り「カンパーイ♪」でスタート！今回、初めて参加された方が多かったのですが、皆さん楽しく話に花を咲かせていました。これも、メインホストがなせる業！！いいアイディアが生まれた島もありました。

第5回Hana金を終えて･･･

毎回テーマも対象者も決めていませんが、参加者自身が持ってきた話のタネに世代も職種も違う人たちがそれぞれの視点から水を与える事で、新たな発見につながったり、自分だけでは思いつかないアイディアが生まれたりします。「なるほど！」「それいいね！」と話に花が咲いている様子を見ると場づくりをさせていただいた私たちも嬉しく思います。「とりあえず話を聞いてみたい」という方も大歓迎です。皆さんのご参加をお待ちしております！

おしらせ

花泉　秋の花泉互市

花泉中央振興商店街協同組合では、藩政時代からの歴史を誇る花泉互市を開催します。花や野菜、伝統工芸品や農畜産物、美味しいグルメ等の露店100店が歩行者天国の通りに並びます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成26年11月1日(土)～3日(月)
9時～18時頃
【場所】ＪＲ花泉駅前通り（歩行者天国）
【料金】入場無料
【問合】花泉中央振興商店街協同組合
【電話】0191-82-2437

室根　第10回 一関市むろね産業文化祭

一関市むろね産業文化祭実行委員会では、地元農産物等の品評会や特産品の展示即売、食事コーナー、森と海の幸が勢揃いする物産展等、地域の魅力が盛り沢山の産業文化祭を行います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成26年11月8日(土)9時～16時
～9日(日)8時45分～15時
【場所】室根きらめきパーク　体育館
【料金】入場無料
【問合】一関市役所室根支所産業経済課
【電話】0191-64-3806

藤沢　マーチングフェスティバル inふじさわ

一関地域のマーチングバンド・吹奏楽団等９団体が集い、演奏会を行います。演奏や合唱の響き合いを体感し、音楽の楽しさを感じましょう！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成26年11月16日(日)13時～16時半
【場所】藤沢体育館
【料金】入場無料
※入場には、藤沢支所教育文化課・藤沢公民館で配布している整理券が必要です。
【問合】藤沢支所教育文化課
【電話】0191-63-5302

大東　元気市

四ツ角商店会では、人気ロボット等が当たる輪投げ大会や高所作業車への試乗体験、大もちまき大会等を行う元気市を開催します。金券が当たるチャンスイベントは全部で４回！ご家族お誘いあわせの上ご来場ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成26年11月16日(日)11時～14時
【場所】後藤工建様駐車場
【料金】入場無料
【問合】一関商工会議所大東支所
【電話】0191-75-2448

一関　eco検定受験講習会

一関地球温暖化対策地域協議会では、地球温暖化や気候変動のみならず、環境に関して幅広い知識をもったエコピープル育成の一助として、当協議会の役員等が公式テキストの解説をします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成26年11月23日(日)・24日(月)
時間はいずれも10時～16時10分
【場所】一関市役所２階　大会議室
【持物】ｅｃｏ検定公式テキスト
【料金】無料
【問合】一関市役所生活環境課
【電話】0191-21-8342／担当　千葉

東山　雲の弁当屋

ＮＰＯ法人ワークハウス雲では、東山地域内で毎週火曜日と金曜日に手作り弁当の配達を行っています。

お弁当は魚や季節野菜を中心にした「ヘルシー弁当（340円）」と、肉や魚、野菜をたっぷり使った「四季彩弁当（390円）」の２つをご用意しています。

※配達料金は一軒につき30円です。
※１か月単位でのご注文をお願いします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【問合】ＮＰＯ法人ワークハウス雲
【電話】090-7073-4985／担当　渡邊

川崎　北上川河川調査船ゆはず ≪河川調査学習≫

岩手河川国道事務所一関出張所では河川調査学習への参加者を募集しています。北上川河川調査船ゆはずに乗り、自然や環境にふれながら河川の疑問や問題について考えてみませんか。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【期間】平成26年4月～平成27年3月
【時間】①9時～12時　②13時～16時
【場所】川崎防災センター出発
【料金】無料
【問合】岩手河川国道事務所一関出張所
【電話】0191-23-2435

千厩　千厩ダンス同好会 会員募集

ラジオ体操気分で気軽に社交ダンスを楽しみませんか？60代～80代のメンバーでダンスを通した体力・仲間づくりを目的に活動しています。現在、男性会員を募集中です！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】毎月第1･2･3水曜日10時～12時
（途中休憩・ティータイムあり）
【場所】千厩農村勤労福祉センター体育室
【会費】1,500円／月
【服装】動きやすい服装、運動靴
【問合】0191-52-4104／担当　村上

一関　古書交換スペース「古本ステーション」

一関公民館では、家庭で不要になった本を別の本と交換できる「古本ステーション」を設置しています。持参した本と同じ冊数以内で交換でき、現在は約250冊の本から交換する本をお選びすることができます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【交換時間】平日9時～17時
【設置場所】一関公民館入口
【料金】無料
【問合】一関公民館
【電話】0191-21-2148

今月の表紙

今月の表紙は、10月4日の「千厩きもの物語」に併せて運行した佐々木牧場さんの馬車の写真です。イベントに参加した着物姿の奥様達が、馬車に乗りながら昔ながらの商店街の雰囲気を味わっています。

Q&A　あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q　いちのせき市民活動センターへ相談したいことがあるのですが、料金はかかりますか？

A　いちのせき市民活動センターでは、地域づくりに関するご相談を窓口やお電話等で受けておりますが、料金は一切かかりません。「何か活動がしたい」「地域の情報がほしい」など、小さなことでもお気軽にお問い合わせください。

発行■いちのせき市民活動センター　〒021-0881　一関市大町4-29　なのはなプラザ4F　TEL0191-26-6400　Fax 0191-26-6415
せんまやサテライト　〒029-0803　千厩町千厩字町149　TEL0191-48-3735　Fax 0191-48-3736
ブログはコチラ